

平成18年度 教育学部シラバス

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|-------|----------|-----|---|-----|-------|--|-----|
| 授業科目番号 | P10035 | 授業科目名 | 国語科指導法 A | | | | 科目名英訳 | Methods of Japanese Teaching (Elementary)A | |
| 単 位 | 2 | 学 期 | 後期 | 曜 日 | 水 | 時 限 | 3-4 | 担当教員 | 山本良 |
| テ ー マ | 国語教育の理論と実践 | | | | | | 教 室 | A40 | |
| 授業の目的 | 小・中・高の国語教育に関する理論や実践報告を学習する。あわせて学習指導要領等についての理解も深める。受講生は各自(またはグループ毎)に模擬授業の計画を立て、実際に行う。討論や検討会も行い、相互の実践的な指導力を高める。 | | | | | | | | |
| 学習の目標 | つぎの各項目を学習の目標とする。 1) 国語教育の意義について理解し、現状と問題点を把握する。 2) 国語教育における文学教育の役割と意義についての理解を深める。 3) 模擬授業を通して、国語教育の実践的指導力を身につける。 | | | | | | | | |
| キーワード | 国語教育、文学教育、現代文 | | | | | | | | |
| 授業の内容・方法 | 学習指導要領など国語教育に求められている公的な目標と、国語教育の現場で必要とされている課題について考察する。 具体的な指導案、授業計画を各自または各グループ毎に作成し、毎回の講義において、模擬授業を行う。模擬授業に対しては討論を行い、小レポートを課す。 | | | | | | | | |
| 授業展開 | <p>第1回 ガイダンス - 授業の概要と進め方 - 授業の概要と進め方を説明する。</p> <p>第2回 国語教育の現状 国語教育の現状と課題について説明する。 課題教材・分担を決定する。</p> <p>第3回 小二「スイミー」 模擬授業・講評</p> <p>第4回 小二「スーホの白い馬」 模擬授業・講評</p> <p>第5回 小三「モチモチの木」 模擬授業・講評</p> <p>第6回 小三「ちいちゃんのかげおくり」 模擬授業・講評</p> <p>第7回 小三「おにたのぼうし」 模擬授業・講評</p> <p>第8回 小三「手ぶくろを買いに」 模擬授業・講評</p> <p>第9回 小四「白いぼうし」 模擬授業・講評</p> <p>第10回 小四「一つの花」 模擬授業・講評</p> <p>第11回 小四「ごんぎつね」 模擬授業・講評</p> <p>第12回 小五「大造じいさんとガン」 模擬授業・講評</p> <p>第13回 小五「注文の多い料理店」 模擬授業・講評</p> <p>第14回 小一「おおきなかぶ」 模擬授業・講評</p> <p>第15回 小一「くじらぐも」 模擬授業・講評</p> | | | | | | | | |
| 成績評価方法 | レポート、授業中に実施する小レポート、講義への取り組み(模擬授業)により総合的に成績評価を行う。 レポート(40%)、小レポート(20%)、講義への取り組み(40%) | | | | | | | | |
| 成績評価基準 | 優ならば、80点以上、良ならば70点以上80点未満、可ならば60点以上70点未満、不可ならば60点未満と評価する。 出席回数が授業全体の2/3未満である場合には欠席とし、評価の対象としない。 | | | | | | | | |
| テキスト | 講義内で適宜指示する。 | | | | | | | | |
| 参考図書 | 講義内で適宜指示する。 | | | | | | | | |
| 学生へのメッセージ | 主体的な参加を望む。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業開講期間中の木曜日、3～4時限 | | | | | | | | |
| 連絡先 | 電 話：048-858-3176 e-mail： | | | | | | | | |
| 備 考 | | | | | | | | | |